めざせ!計算名人!!

単	元	かけ算	対象学年	2	年
ね	(C)	たし算とかけ算を交互に行うことで、計算力の向上を図る。			

1 準備するもの

教師:「めざせ!計算名人!!」のプリント (事前に数値を考えて作成しておく)

2 学習のしかた

(1) 計算方法の確認をする。

左側の○には、たし算の答えを記入する! 右側の□には、かけ算の答えを記入する!

- (2) 制限時間は、3分であることを確認する。
- (3) ○や□の下に計算式を書いても良いが、可能なら暗算で行うことを伝える。
- (4) 採点は、教師の採点でも、子ども同士の相互採点でも良い。
 - (○と□が両方あっていて正解とする。10点満点)

3 学習上の留意点

- ・計算を行う際に、たし算だけを行ったり、かけ算だけを行ったりするのではなく、たし 算とかけ算を交互に行い、問題番号順に取り組むことを確認する。
- ・計算スピードも意識できるように、パソコンのタイマー機能を大型ディスプレイに表示 しておくとよい。
- ・教師が問題を作成する際、かけ算の計算が九九であることを確認しておく。(3桁の数字の場合、左側とまん中の数字をかけて、2桁の数字にならないようにする。)
- ・九九を学習してすぐに行うと、混乱してしまうことが予想される。ある程度定着してから、復習と計算力の向上のために実施した方が良い。
- ・クラスの実態に合わせて、数字の桁数を増やしたり、ひき算の計算を組み合わせたりすることもできる。

4 学習の効果

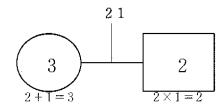
- ・初めて取り組んだ際には、2つの計算方法により困っている子供が多かったが、実施するごとに児童は慣れていった。交互に計算するスピードも速くなった。
- ・3分間という短い時間なので、子どもも集中して取り組むことができた。慣れれば、2分間で半数以上、3分間でほぼ全員が解答することができるようになった。
- ・かけ算が苦手な子供も、たし算があることによって集中して取り組むことができた。正 解するために、かけ算も意欲的に取り組むことができた。
- ・計算が得意な子供に、問題作りを行わせると、色々なパターンを考えることができた。

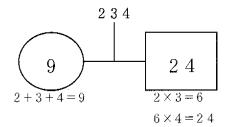
めざせ!計さん名人!! <u>2年 組 番</u>

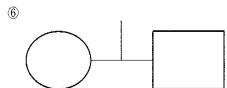
★左がわの○には、たしざんのこたえをかこう! 右がわの□には、かけざんのこたえをかこう!

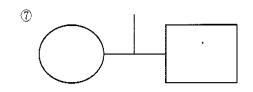


≪n11>>>

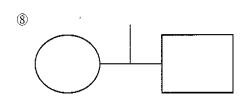




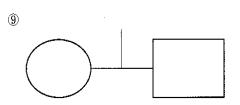




3



4



(5)

